

( 2 ) 外院の里地区

以下に外院の里地区に配布した地図と「お気に入りの道」として選択された場所を示す。

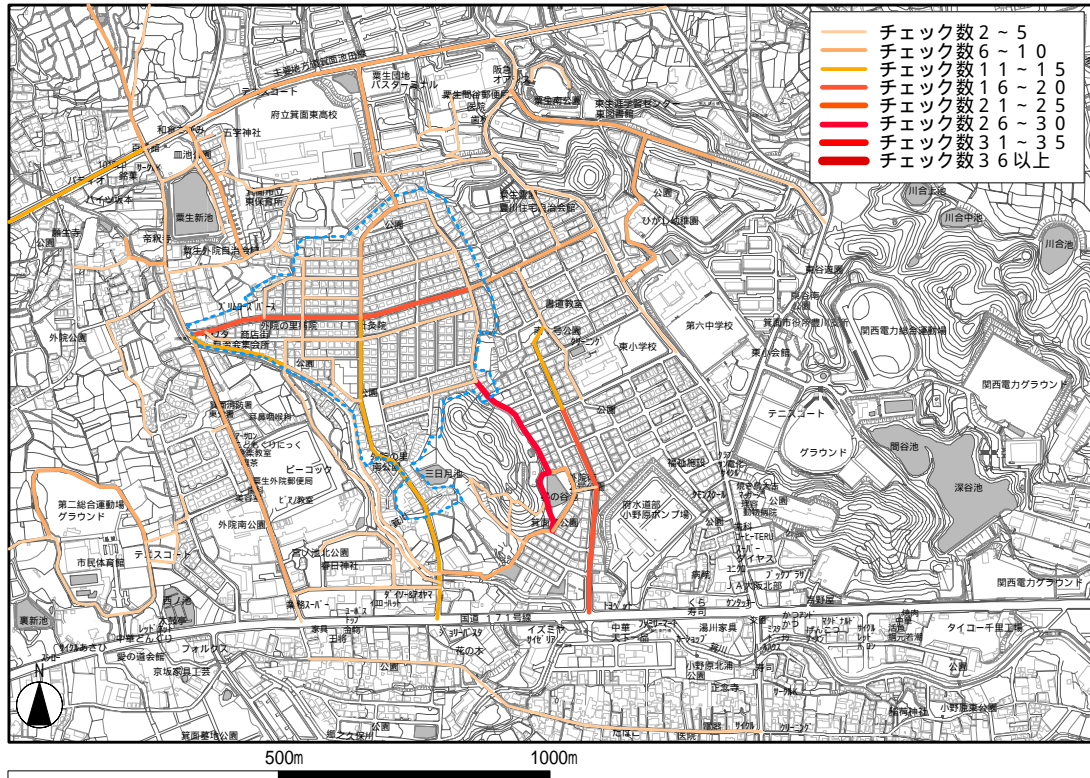


図 3 - 8 外院の里地区の道の好感度

外院の里地区では、複数の道が上がった。その中でも箕面東公園内の道（写真3 - 5、写真3 - 6）には回答が集中した。土が残り、竹やぶがあり、街中を忘れさせるような静けさが魅力のようである。また、住宅内の主要道路にも回答が多かった（写真3 - 7）。



写真3 - 5



写真3 - 6



写真3 - 7



写真3 - 8

( 3 ) 外院南地区

以下に外院南地区に配布した地図と「お気に入りの道」として選択された場所を示す。

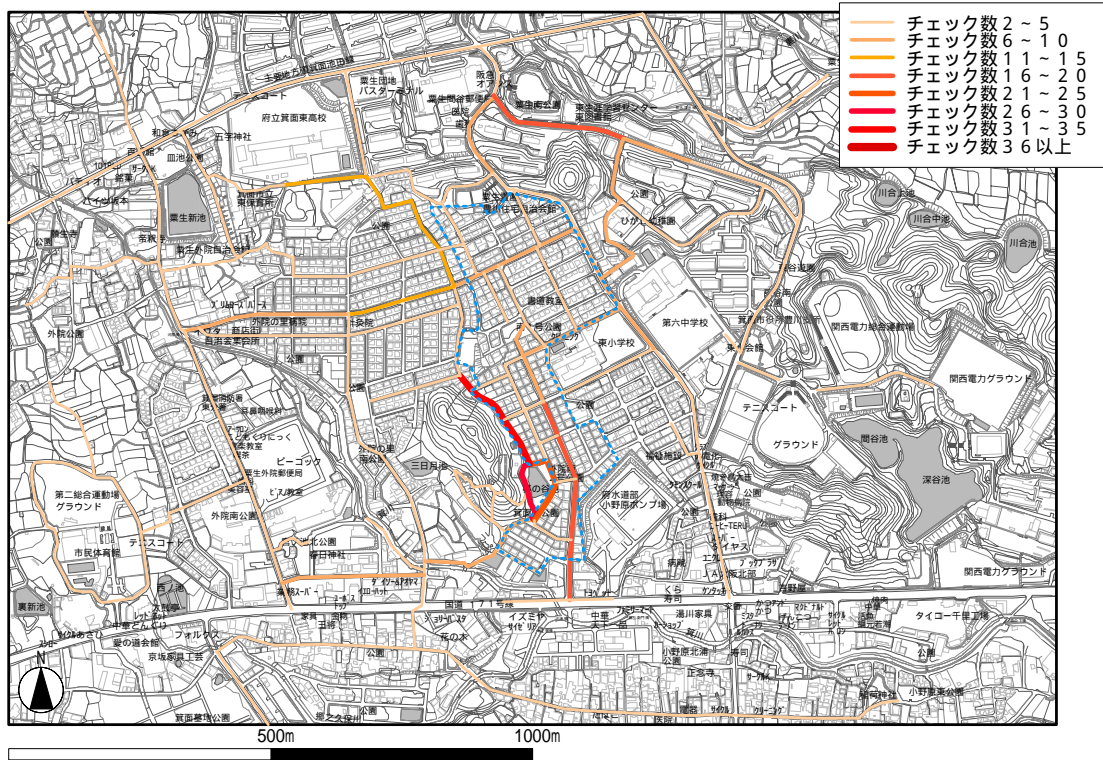


図 3 - 9 外院南地区の道の好感度

外院南地区では、地区内の主要道路（写真3 - 9、写真3 - 10）に回答が集中した。よく通る道に愛着がわく例といえるのではないか。他にも近隣の公園内の道が選ばれていた（写真3 - 11、写真3 - 12）。



写真3 - 9



写真3 - 10



写真3 - 11



写真3 - 12

## 4 . まとめ

本章では得られた結果は以下の通りである。

- ( 1 ) クルマへの依存度が低い人ほど、広域な徒歩生活圏を持っていることが明らかとなった。
- ( 2 ) クルマ依存生活者は、自宅の周辺の施設をあまり利用していないことが明らかとなった。
- ( 3 ) クルマ依存生活者の割合の低い「箕面」では、道路の歩きやすさに対し厳しく、クルマ依存者の多い「外院南」や「外院の里」では、比較的歩きやすさに対する厳しい意見が少ない。
- ( 4 ) 「箕面」では、交通量の多さ、道の狭さ、はみ出している街路樹など、歩きにくさを要因が上がっているが、一方で理想的な道路環境を問うたところ、歩道があること、道が広いことがその要素として上がっているわけではなく、むしろ緑は積極的に評価していることがわかった。
- ( 5 ) 「箕面」では住宅地のメインストリートとして整備された並木の道がお気に入りの道として上がっているが、戦後の開発である「外院南」や「外院の里」では、自然が豊かな公園の遊歩道がお気に入りの道として上がっている。